



関東 470

6月15日(土)~6月16日(日)にかけて神奈川県葉山港ヨットハーバーにて、関東470フリートレースが行われました。九州大学からは、上位3艇が出場しました。1日目は、雨と爆風に見舞われましたが、なんとか1レースを消化することができました。2日目は悪天候のためレースは中止となりましたが、ナショナルチームとのフィジカルトレーニングに参加させていただきました。九州大学の各艇の最終順位は、近藤(4年)/芝(3年) 19位、佐藤(2年)/永野(4年) 25位、添田(4年)/市川(3年) 27位となりました。今回の遠征では少ないレース数の中で、ビックフリートでの経験を積むことができました。また、ナショナルチームとの高いレベルのトレーニングは、貴重な体験となりました。この遠征で学んだことを部に還元し、今後の練習に生かしていきたいです。(川端)



関東スナイプ

6月22(土).23(日)にかけて、神奈川県葉山港ヨットハーバーにて関東スナイプ選手権が行われ、九州大学からは4艇が参加しました。前入りでは他大学との合同でスタート練習やコース練習をしました。

大会は2日間とも風が安定せず、1日目はゼネリコとノーレースが続き、2日目になんとか1レースを消化し大会は成立しました。九州大学の各艇の成績は、82艇中、西島(4年)/鹿野(4年) 27位、入江(3年)/都田(4年) 82位、竹中(4年)/西山(4年) 28位、足立(2年)/笹川(4年) 65位となりました。今大会では、レースは1レースしか行われなかったものの、陸待ち中に社会人セーラーとコンタクトを取ったり、ビックフリートの中での動作の確認ができたりと、収穫の多い大会となりました。また何より今回の遠征では、貪欲に外部と接し知識を得ることの重要性を再確認し、普段の練習の質の向上を再考するきっかけとなりました。(濱田)



結団式

6月12日(水)に、九州大学の椎木講堂にて七大戦の結団式が行われました。各部活を代表して、主将が決意表明を行いました。久保総長をはじめ、七大戦の運営からのご声援、応援団の力強い演舞により、一層身が引き締められました。今年の七大戦は九州大学が主幹校となります。中でもヨット部は9連覇がかかっており、絶対に負けられない戦いとなります。九州大学の総合優勝に向かって、各部活が一つになった良い結団式となりました。(川端)

三畏閣新歓

6月19日(水)に伊都キャンパスの亭々舎にて三畏閣新歓が行われました。今では伊都キャンパスで行われているヨット部恒例の行事ですが、以前は箱崎キャンパスの『三畏閣』という建物で行われていたといいます。三畏閣新歓の名前の由来を知らない部員もいたのではないのでしょうか？

会では1年生と2年生数人が出し物を披露してくれました。普段は大人しい部員も、この日だけは違う一面を見れるというのも、三畏閣の楽しみの1つです。笑いいっぱいの楽しい時間を過ごすことができました。(寺井)



今月の食当

丼1杯が普通である九大ヨット部の食当ですが、この日は少し特別でした。なんと、ハヤシライスにサラダがついていたのです。彩りの良い見た目は、食欲を増進させます。一風変わったドレッシングを使うなど隅々まで工夫されていた食当に、暑さで疲れた体が元気いっぱいになりました。お肉もたっぷり、みんなが幸せな気持ち

になりました。これを機に、工夫を凝らした食当が増えるかもしれませんね！(川端)



今後の予定

●九州学生ヨット選手権大会個人戦

7月6日(土)、7日(日)にかけて小戸ヨットハーバーにて九州学生ヨット選手権大会個人戦が行われます。この大会は全日本インカレの切符をかけた重要なレガッタで、選手一人一人が様々な思いを抱いて挑むこととなります。また、1年生が加わり新体制となって挑む初の公式戦でもあり、気を引き締めて万全の体制で臨みたいと思います。

●七大戦

7月13日(土)～15日(月)にかけて我々九大のホームである小戸で七大戦が行われます。年に一度の旧帝大が集結する大会であり、より身近な良きライバルの情報を得られる絶好の機会でもあります。今年は9連覇をかけた負けられない戦いでもあり、国立大学で圧倒的な実力を見せつけたいと思います。

●ファミリーデー

7月27日(土)に小戸ヨットハーバーにて現役部員のご家族を対象にファミリーデーを開催します。我々現役部員がヨットを続けられているのは親御さんのご理解ご支援があってこそに他なりません。ファミリーデーを通して他の部員や保護者との輪を広げ、九大ヨット部の魅力を知っていただき、心から応援されるチームでありたいと思います。(濱田)